

要請番号 (JL51523B26)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G182 小学校教育		個別	新規 1代目	2年	・ 2024/2 ・ 2024/3 ・ 2025/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

セントマリー小・中学校

3) 任地 (ナイロビ郡ナイロビ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はナイロビ郡内にある男女共学の公立小・中学校(9年制、日本の小学校1年生～中学3年生相当)である。教員数は19名、生徒数は約700名。生徒は自宅から通学しており、1時間以上歩いて通学する生徒も多い。約7割の生徒がスラム地域の出身であり、その約半数はアフリカ最大といわれるキベラスラム出身である。そのせいか、地域では学力が低いとされている学校である。1クラス40～50名程度で1日8コマ、小学生は1コマ35分、中学生は1コマ40分で時間割が組まれている。授業後は、スポーツや数学クラブなどの課外活動の時間が設けられている。年間予算は約400万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

現在ケニアでは、8-4年制であった初等・中等教育課程を日本と同様の6-3-3年制に移行する過程にある。これに伴い新しいカリキュラムが導入され、生徒主体の教授方法が推奨されるようになった。しかしながら、教員はその様な教授方法に不慣れであり、特に数学と理科において生徒の興味・関心を向上させ学力を伸ばす為の支援を必要としている。また、使用できる機材は少ないながらも、生徒のデジタルリテラシーを向上させる事のできる教員を求めている。これらの理由から、JICA海外協力隊の要請に至った。配属先の近郊にはJICAの支援で設立されたアフリカ理数科・技術教育センター(CEMASTEА)があり、校長からは連携による生徒の学習機会の拡充が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚と共に、以下の活動を行う。

- 主に小学4年生以上の生徒に対して数学と理科の授業を行うが、配属先と相談の上で決定する。
- 可能な範囲でICTに関する授業を担当する。
- 授業後に行われる課外活動の運営に参画する。
- CEMASTEАなど他の機関とも連携し、生徒たちの学習機会の拡充を図る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

タブレット端末10台(Windows)、ラップトップPC3台(Windows)、デスクトップPC台(Windows)、プロジェクター1台、教室、黒板、チョーク

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
・校長(50代男性)
・教頭(40代女性)
・教員19名
活動対象者:
・小学校1年生～中学3年生

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（小学校教諭）
[性別]：（ ） 備考：
[参考情報]：
・ICTに関する知識があると望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～25℃位）
[通信]：（インターネット可 電話可）

【特記事項】

【類似職種】